



急ピッチで工事が進み、外装がほぼ完成したミャンマー子ども病院 (AMDA提供)

ミャンマー
子ども病院

11月末にはオープン

AMDA代表 建設状況を報告 工期2ヵ月短縮

ミャンマーに小児病院を建設している国連NGO

「AMDA」(アジア医師

連絡協議会)の同国駐在代

表、大森佳世さん(三)が一

時帰国し、岡山市のAMD

A本部で二十四日、建設状

況を報告。「予定より二カ

月も早いピッチで工事が進

み、九月末には完成、十一

月末にはオープンできそ

う」と話した。現地では頻

繁に病院のニュースが報道

されるなど、新しい病院に

対する期待はいっそう高ま

っているという。

「ミャンマー子ども病

院」は、同国に医師を派遣

していたAMDAがミャン

マー政府の要請を受けて計

画。産経新聞社提唱の「明

美ちゃん基金」などの適用

を受け、AMDAが昨年十

一月からメッターラ地区

に建設している。病院は集

中治療室や新生児室、遊戯

室などを備える。

報告会で、大森さんは

「発展途上国では工期の遅

二ヵ月間も工期が短縮する

のは異例」と説明。一月に

二回のペースで現地のマス

コミにも報じられている」

と付け加えた。施工業者が

さくを無償で作って病院に

寄付したり、AMDAの現

地委員会が机やイス、停電

用の変圧器、給水器などを

寄贈したことも報告した。

大森さんは今月二十七

日、再びミャンマーに向か

う。今後、日本とミャンマ

ーで医療スタッフの交換研

修を行い、開業後に備える。